



正昭 小池まさあき 県議会レポート

“ふるさとちば”のための政策推進を

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

「千葉県誕生150周年」節目の年

郷土の歴史や伝統、文化

「次世代へ継承を」

小池 県議

未来の千葉県を描く政策立案に力を注いでいる小池正昭県議(成田市選出、4期)は12月定例県議会でちば自民党を代表して質問に立ち、熊谷知事らに県の施策を聞きました。千葉県誕生150周年にあたって、小池県議は千葉県の歴史や伝統、文化などの財産を県政運営にどう生かしていくのかと質問、さらに、福祉・保健医療に従事する人材の確保・育成などについて県の方針を尋ねました。小池県議の質疑と県執行部の答弁を抜粋して紹介します。

12月定例県議会代表質問

小池議員 本年、千葉県は誕生150周年という節目を迎えたが、改めて千葉県のこれまでの歩みを振り返ると、伝統や文化が地域の歴史や暮らしと深いつながりを有し、県民が誇りや愛着を持つていることを感じる。

私たち自民党は、今後とも本県が誇る歴史や伝統と育んできた文化を護持し、次世代へと繋いでいくことが

重要と考えるが、知事は、千葉県誕生150周年の節目を迎えて、今後の県政運営にあたり本県の歴史、伝統文化などの財産をどう生かしていくのか、

私たちが誇る歴史や伝統と育んできた文化を護持し、次世代へと繋いでいくことが

150周年の節目に、各地域で開催された記念事業等を通じて、県民とともに地域の特色ある歴史や伝統、文化などを振り返るとともに、これらから財産を大切にしながら、未来に向けた新しい千葉県づくりを進めてまいります。

ライフワークとしている成田空港関連では、5項目について質問しました。

- 更なる機能強化や地域共生・まちづくりの取り組み状況について
- 空港会社と県・市町との情報共有のあり方について
- 空港周辺の道路ネットワークの強化について
- 鉄道などの空港アクセスの検討状況について
- 魅力ある職場としての空港づくりと人材確保について



登壇し、代表質問を行う小池正昭県議

県としては、こうした歴史や伝統、文化の財産であり、本県ならではの特性や強みとして、地域社会の発展と県民の活力向上に生かしていくことが重要であると考えています。

小池議員 広域的な都市計画区域マスタープランの策定に向けて、県はどのような取り組みをいくのか。

資する広域幹線道路や都市機能の集積を図る拠点等を、地域の実情に応じて位置付けていきたいと考えています。

都市の将来像描く 都市計画区域マスタープラン 市町村での十分な調整要望

小池まさあき 県議事務所

〒286-0025 成田市東町155-3 電話 0476(22)0688
E-mail : koike@ngy.3web.ne.jp
URL : http://koikemasaaki.net

小池まさあき

○経歴○

- ◆昭和41年9月 成田市生まれ
- ◆三里塚小、遠山中、千葉日大一、日本大学理工学部卒
- ◆同大学院理工学研究科修了
- ◆平成7年4月 成田市議会議員初当選(4期連続当選)
- ◆平成21年6月 成田市議会議員
- ◆平成23年4月 県議会議員初当選(現在4期目)
- ◆現職 予算委員会委員長、自民党千葉県連幹事長代理、政務調査会副会長、千葉県農業会議会長、環境生活警察常任委員会委員、都市計画審議会委員

児童や家庭を支援「児童福祉専門職員」 人材育成、喫緊の課題

看護師などの コメディカル人材

小池議員 看護師など、医師以外の保険医療職であるコメディカル人材の確保・育成について、今後どのように対応していくのか。

副知事 医療の複雑・高度化による多職種連携・チーム医療の推進や、医師の働き方改革に伴うタスクシフト・タスクシフトの動き等を踏まえ、看

確保・育成に注力

看護師などコメディカル人材の重要性は、ますます増大していくものと認識しています。

県では、県立の鶴舞・野田の両看護専門学校で看護師を養成するほか、4年制の保健医療大学では、全国の公立1000大学中、唯一、看護師・管理栄養士・歯科衛生士・理学及び作業療法士の養成学科を併せ持

ち、全ての学科の学生が共同参加する授業を行うなど、各職種の専門性を相互に理解し、多職種連携に資する学びに取り組んでいます。

こうした、本県が持つ強みや特徴を強化しながら、時代の要請に応え得る、今後のコメディカル人材の確保・育成の取組を進めてまいります。



議場の自席で再質問を行う小池県議

小池議員 少子高齢化の進行など、社会・経済状況が大きく変化する中、年々増加する福祉・保健医療ニーズに適切に対応するためには、それらに従事する人材の確保・育成が大変重要。

そこでまず、児童福祉専門職員だが、子どもや家庭を巡る様々な課題に対応しながら支援を行う児童福祉司など専門職員の仕事は、やりがいのある一方で、精神的な負担も大きく、使命感をもって働く職員の意欲を維持するためにも、将来を見据えた人材育成は喫緊の課題と言える。

そこだろうかだが、児童福祉専門職員の育成方針について、策定状況はどうか。また、今後どのように取組を進めていくのか。

知事 県では、喫緊の課題となっている児童相談所等の人材育成を計画的に推進するため、千葉県児童福祉専門職員人材育成基本方針を今月策定しました。

この方針では、専門性と幅広い視野を有する職員の育成など、人材育成の基本的な考え方や目的を明らかにするとともに、専門研修の計

画的受講や市町村等との人事交流による多様な業務経験の促進等、キャリアパスの見える化を行うこととしたところ。

小池議員 今年の夏は、米が白く濁る「白米熟粒」が発生し、全国的に品質の低下が見られたほか、本県では梨の一部の品種において、

猛暑で米や梨に被害 高温に耐える品種開発へ

今後はこの方針に基づき、職員がやりがいと意欲をもって安心して働けるよう、新たに実施するマネジメント研修やキャリア研修等により人材育成を着実に進めるとともに、職員の採用活動においても積極的にPRをすることで、人材の確保にも努めてまいります。

身が黒く変色する「日焼け」症状が発生するなど、記録的な猛暑が農業生産に大きな影響を及ぼした。

農業者が安定的に生産活動を維持していくためには、防災・減災対策を充実するとともに、温暖化にも対応していくことが重要。そこでもうかがうが、県の温暖化への対応はどうか。

副知事 温暖化の進行によつて、農作物の高温障害や

このため、県では、高温の影響を受けにくい水稲やナシの品種開発のほか、施設園芸における遮光資材の活用を進めるとともに、被害の拡大が懸念される病害虫について、防除方法の開発や周知などを行っています。

また、本年4月には、近年の

小池議員 工事の施行上の不備が台風13号による一宮川の浸水被害にどう影響したのかを検証する有識者会議の設置目的と今後の見通しはどうか。

副知事 台風第13号の接近に伴う大雨により、一宮川流域では、令和元年に続き浸水被害が発生したほか、仮締切り堤防の一部に必要な高さが不足する箇所があったことが判明したことから、災害の検証と護岸工事の検証を行うために有識者で構成する2つの検証会議を設置しました。

このうち「災害検証会議」では、浸水被害が発生したメカニズムや、計画を上回る降雨に対する今後の浸水対策のあり方を、

一宮川氾濫を検証 有識者会議設置し解析

「護岸工事検証会議」では、本来行われるべき工事の管理体制のあり方等を検証することとしており、それぞれ1回目の会議を開催したところ。

小池議員が、新設された委員長の選出に賛同しました。

なお、令和6年3月4日から5日(3月4日)の2日間の日程で、初日(3月4日)午後12時～13時、2日(3月5日)午前10時～11時、午後1時～2時の3回、テレビ放送される予定です。

小池県議、予算委員長に就任

金属盗難が大幅増加
マンホールの蓋など被害

小池議員 金属類の盗難事件件数が大きく増加しているが、発生及び検挙状況はどうか。

警察本部長 令和4年中の金属盗難の認知件数は823件で、前年に比べて140件増加しました。令和5年10月末における認知件数は1337件で前年同期に比べて622件、87%増加しています。

検挙状況については、令和4年中の検挙件数は235件で、前年に比べて57件増加し、検挙率は28.6%で、前年に比べて2.5ポイント増加しました。

特に、金属盗難のうち、太陽光発電施設からの銅線盗や側溝の蓋であるグレーチングを対象とした盗難の認知件数が大幅に増加していますが、処分先と見られる金属買取業者の実態が判然としないことから、今後、実行犯の捜査のほか、処分先の実態解明にも努めてまいります。

令和5年10月末における検挙件数は181件で前年同期に比べて35件減少し、検挙率は13.5%で、前年同期に比べて16.7ポイント減少しました。

ところで、今後も、農業生産の安定化に向けて、温暖化への対応に取り組んでまいります。